

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

12月定例会では10・11・14日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
松本 徹



一般質問

一関和 一 議員（民主党）

春です。蕨駅周辺に市民ぐるみで花いっぱい運動を展開しよう！



地域ボランティア活動による「北町花いっぱい運動」

議員 蕨駅は市の玄関口であり、歓迎の意を表し、人々を和ませ心豊かにする花いっぱい運動を展開するよう、公園等の自主管理団体に呼びかけはどうか。

都市整備部長 公園等自主管理団体の登録条件や花壇の整備、プランターの増設など設備的な課題もあるので、今後、町会やボランティア団体等を所管する部署とも協議したい。
魅力あるまちを目指した環境整備について

議員 第70回メモリアル成年式を飾る「成年式発祥の地記

念塔」のようなものを蕨駅前に建立してはどうか。
教育部長 既に「成年式発祥の地記念像」が蕨城址公園にあり、この記念像の存在は広く多くの方に周知され、定着していると考えている。そのため、今後もこの記念像の周知に努め、新たな記念塔等の設置は考えていない。

議員 経年劣化で老朽化した住居表示街区案内板を外国語や市のキャラクターであるつらびーなどを表示したものに一新する考えはないか。

市民生活部長 案内板は経年により劣化しているものがある。今後そのすべての状態について点検する。外国人にもわかりやすい表記による案内内や市のPR等の表示を含めた案内板の一新については、財政負担にも考慮しつつ調査・研究していきたい。

長期的な視点に立った公共施設等の老朽化対策について

議員 昨年4月、国（総務省）から要請を受けた市の公共施設の全体状況を把握する「公共施設等の総合管理計画」の策定の取り組み状況と私自身が提案した「公共施設等マネジメント白書」の策定はどうか。

総務部長 今年度、「公共施設等マネジメント白書」を作成し、これを基礎資料として平成28年度に長期的な視点に立った公共施設の見直し等を含む計画的な維持保全などの方針を示す「公共施設等総合管理計画」を策定する。

また、「公共施設等マネジメント白書」については、一般財団法人地方自治研究機構との共同研究として、総事業費の4割を市が負担し、公共施設の現況整理や施設管理台帳の補完調査、更新費用の試算などに基づき、分析、評価等を行い、その結果を取りまとめたものであり、現在、様々な調査結果の分析を行っているところである。



いちいのせき かずいち

希望出生率1.8がかなう 社会の実現に向けて

議員 結婚・妊娠・出産・子育てと切れ目のない包括的な支援体制、さらに不育症支援・不妊治療助成の拡充に向けてはどうか。

総務部長 結婚への支援は、引き続き独身者に出会いの場を提供するイベントの開催など、関係団体と協議したい。

健康福祉部長 「子どもを産み育てやすい環境づくり」を掲げて、育児家庭等のサポート体制の充実を図り、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を推進していきたい。本市としては、不妊治療助成事業を「蕨市総合戦略」の具体的な事業の1つとして位置づけ、県事業との精査を図り、早期の実現に向けて取り組

むたい。また、不育症支援については、県事業として行われているが、市としての施策展開について調査・研究する。



子育て世代包括支援センター業務内容のイメージ図

議員 幼児教育の無償化については、多額の財政負担が必要となるため蕨市独自での実施は現在のところ難しいが、国において閣議決定された「子どもの貧困対策に関する大綱」に基づき、すべての子どもが質の高い幼児教育を受けられるよう、幼児教育の無償化に向けた取り組みを、財源の確保をしながら段階的に進めており、その動向を注視したい。

議員 定住促進にもつながる新家庭・家庭賃補助制度の導入は検討できないか。

ほかに 「個人番号カード申請」「スマートフォン・ネット依存防止対策」について質問。



たかはし えつろう

総務部長 妊娠・出産を控えた新婚家庭に住んでいただくきっかけとなる制度であり、若い世代の定住促進策の1つとして先進的に実施する自治体がある。本市では、「三世代ふれあい家族住宅取得支援制度」を開始したところであり、まずは利用状況や定住促進の効果を見極めていきたい。

オリビック・パブリック東京大会開催に向けて

議員 国の交付税を活用した事前合宿の誘致や選手との交流事業はできないか。

総務部長 市民と、大会に参加するために来日する選手や関係者、日本人オリビック等との交流に係る経費の2分の1が、特別交付税措置の対象となる。市としては、選手との交流などを通じたまちの活性化策等について、引き続き調査・研究していきたい。

蕨駅東口喫煙所は撤去 がのぞましい

議員 2013年の議会で蕨駅西口喫煙所の改善を求め、その後川口寄りに移設された。東口の喫煙所においても苦情が増えている対策が必要だ。

市民生活部長 路上喫煙の防止等に関する条例で、歩きタバコやポイ捨てはかなり改善されてきた。駅東口喫煙所については、受動喫煙をなくすることなど市民の健康増進の観点から、分煙対策、移設・撤去など、あらゆる可能性を検討する。

議員 地主であるJRは移設できないといい、分煙化も難しい状況だ。西川口駅前では自治体設置の喫煙所がないが、自治体の努力などで歩きタバコは減っている。受動喫煙防止の観点から、蕨駅東口についても撤去が望ましいと考える。市長の考えはどうか。

市長 市長への手紙などで苦情は届いている。現状でいいと思っではおらず改善は必要である。駅は市の顔とも言えるので対処していく。



末広公園（塚越1丁目）のリニューアルを検討中

公園のベンチには背もたれを

議員 背もたれのないベンチは疲れるとの声がある。ベンチについての認識はどうか。

都市整備部長 高齢者や障害者等の移動支援と、乳幼児連れの子どもを見守りや休息のために、ベンチ設置は有効であると考えている。

議員 末広公園に背もたれ・手すり付きのベンチを。

都市整備部長 末広公園は老朽化が進み、リニューアルを検討している。その際にベンチの整備を検討したい。

宅地開発事業者への指導

議員 3階建ての戸建てが増え、周辺住宅の日照をささげる問題などが出てきている。開発事業者への指導はどうか。

都市整備部長 まちづくり指導要綱の対象は25年度以降62件、うち500㎡以上の宅地開発は7件。うち4件では要綱が守られていない。工事着手前に近隣へ説明をし、良好な近隣関係を損なわないよう努めてもらっている。

議員 日影・採光・通風をささげる、境界ぎりぎりの建築は、周辺住民にとって不安だ。紛争の未然防止の観点から事業者への指導を求める。

都市整備部長 周辺住民へ十分に説明するよう、事業者に指導したい。

市長 3階建てがやむを得ない例もあるが、よりよい環境のため、要綱を守るよう指導の継続は必要と思っている。

ほかに 「市立病院でのお薬手帳の活用」について質問。



かじわら ひであき

よりよい教育環境へ 教員の負担軽減を

議員 文科省の調査によれば、

教員の病気休職者の中で精神疾患が6割を超えたとの異常な事態。教員のために、また教育環境の充実のためにも、長年指摘されている長時間勤務の解消等、教員の負担軽減対策は早急に必要。市内の在校時間の調査結果はどうか。

教育長 今年度は小学校3校、

中学校1校で10月に調査した。正規の勤務時間を80時間以上超えている職員は、小学校26人、中学校1人との結果だった。

議員 以前、志村前議員への

議会答弁は「1人（2月調査）」だったが、2学期の小学校では労務災害の基準となる80時間超の教員が3校だけで26人もいることが明確になった。実態はさらに多いと思う。どう対応する考えか。

教育長 書類作成や成績管理

を支援するソフトの利用や、特定の教員に負担が集中しない体制整備等を進めてきた。地道な対応に教職員から一定の評価を得ているが、まだ不十分であり、検証も行いながらよりよい方向を探りたい。

議員 この調査は既に市内の

全校を一巡した。今後は、検討委員会の設置など、新たな対応が必要。負担軽減の具体化について検討を求める。

外国籍児童等への対応

議員 日本語指導が必要な児

童・生徒が増加する一方で、必要な体制は不十分な状況がある。対象児童の成長のため



すずき さとし

にも、教職員の負担軽減の面

からも早急な対応が必要。ところで、市立小・中学校での在籍人数はどの程度か。また、最も多い学校の状況はどうか。

教育長 全体で小学校63人、

中学校11人。最も多い学校には小学校で18人、中学校で8人が在籍している。

議員 学校での対応はどうか。

また、教員以外の支援等は。また、教員以外の支援等は。

教育長 平成27年度、県費の

加配教員が小学校1人、中学校2人のみで十分ではない。市費での配置も含め、国・県の支援についても繰り返し要望したい。また、支援員や日本語ボランティアの重要性も認識し、適切に対応したい。

一般質問

DV防止基本計画 （第2次）について

議員 この数年の間に当市で

もいち早くDV防止基本計画が策定され、担当だけではなく、関係部署との連携を図りながら対応していくことができるようになり、まずはスタートを切ったと思う。第2次基本計画はまだ策定段階であるが、1次計画とどのような違いがあるのか。また、どのように進めていくのか。

市民生活部長 10月に男女共

同参画推進委員会からDV防止基本計画の策定に向けてのご提言をいただき、その内容を参考に第2次計画の策定を進めていく。具体的には、DV防止の啓発をより充実させることやDVと児童虐待について連携を深め、総合的な支援を行うこと、男性被害者からの相談などについて盛り込んでいきたいと考えている。

今後の進め方については、

12月中に庁内の会議において素案を作成し、1月にはパブリック・コメントを実施、今年度中に第2次計画を策定

することとしている。

議員 DVは被害に遭った方を救済するというのも大切なことだが、それだけでは件数が減っていかないと考えている。庁舎内や関係機関、また、市民の意識を高めるといったことに力を入れていくことが一番のDVの予防になると思うので、啓発活動の強化をお願いしたい。

乳がん検診個別化のために保健センターの検査機器使用を

議員 乳がん検診の申し込み者、受診者は各市町村で増加傾向にあると聞いているが、本市の乳がん検診の申し込み受診者の状況はどうか。

健康福祉部長 受診希望者は

3千619人に上り、例年の約1.7倍に達している。

議員 乳がん

検診の個別化を視野に入れたときに、市



まえかわ やすえ

内で受診可能な施設は市立病

院1カ所だけであり、もう少し努力が必要だと考える。保健センターの3階に、人間ドックで使用されている乳がん検査の設備があると聞いている。人間ドックで使われていないときに、乳がん検診用に使うことはできないか。

市長 保健センターに機械は

あるが、常時医師がいる場所ではないので、その体制というのはなかなか大変な課題である。集団検診と個別検診を併用するとか、いろいろな方法を担当のほうで研究し、結果として受診率が向上できるように、市民の皆さまがより受診しやすいような方策をいろいろな角度で検討したい。



保健センターにあるマンモグラフィー装置

さらなる高齢者福祉充実に 向けての今後の展望について

議員 高齢者の見守りや健康増進、また、買い物などの生活支援の一環として、全国61自治体が参加する自治体スマ本連絡協議会が先月発足しているが、同協議会に参加する考えはあるか。

総務部長 同協議会は、超高齢化の進展や独居高齢者の増加、また、医療費の増加など自治体に共通するさまざまな地域課題をスマートフォンを活用することで解決する方法を検討するとともに、自治体と民間企業等との連携を促進し、地域課題を解決するため



高齢者にさらなる行政サービス推進を

の取り組みを実施すること、地域の活性化に資するということを目的に設立している。参加については、まだ活動が開始されたばかりであり、今後の動きを注視していきたい。

議員 防災行政無線をスマートフォンに直接送れるなどのメリットもあるとのこと、参加してメリット・デメリットを確認することも大事だと思う。今後検討してほしい。

学校教育現場の現状について

議員 財務省の財政制度等審議会などでは少子化に比例して、教職員を削減する案が示されているが、どのように考えているか。

教育長 学校現場を取り巻く課題が複雑・困難化している実態になじまないものであるとともに、児童・生徒への個々の指導が行き届かなくなり、学校教育が社会の期待にこたえられなくなる可能性があると考えている。教育委員会と



こばやし りき

しては教育の質を確保していくために、これまで以上に教職員定数の改善、充実を図ることが望ましいと考えている。

潤いのある都市空間の創造について

議員 公園用地が減少する一方だが、新規に公園用地を取得するのも容易ではない現状で、道路整備や交差点の改良によって生まれたスペースにベンチを置くなどしてつくった小さな公園、いわゆるポケットパークの設置が必要と考えるが、見解はどのようか。

都市整備部長 ポケットパークは道路わきや街区内の空き地など、まちの中のわずかな空間を利用してつくられるもので、歩行者や住民にとって休息や語りの場となるとともに、都市景観の向上や都市環境の改善につながるものと認識している。今後有効な市有地があれば検討をしたい。「防犯カメラ設置」について質問。

あつたか市政を問う



健康アップステーションが設置されている埼玉りそな銀行蕨支店

みやした 奈美 議員（日本共産党） 「ウォーキングと筋力アップで健康密度も日本一プロジェクト」について

議員 健康アップステーションの運営の委託先、委託期間、委託料はどうか。

健康福祉部長 （株）健康長寿研究所に委託。期間は平成27年8月から28年3月まで。委託料は42万4千円。

議員 同ステーションの活動と保健センターの役割は。

健康福祉部長 モニターの定期的な健康数値の測定、活動量計の記録、その他市民が血圧測定等をし、健康チェックを行う。保健センターは広報になるが、市民体育館を使えないか。

健康福祉部長 会場の都合等もあり、簡単にはいかないとと思うが、検討してみたい。

議員 市職員が委託先と一緒に考え、大勢が参加しやすいものを考えてほしい。

健康福祉部長 庁内での会議等にも諮りながら、企画等については検討していきたい。

さらっとわらびをさらに利用しやすくするために



みやした なみ

議員 4台運行と逆回り運行の実施時期と手順は。

市民生活部長 ルートの見直しを検討し、市長マニフェスト期間内での運行を目指す。

議員 障害者の乗車の際に、障害者手帳を持ち歩かなくてもいいように、障害者手帳に代わる無料パス等を希望者に発行できないか。

健康福祉部長 無料パスの場合、介護人が対象となるかの確認ができないことなどの支障があり難しい。

議員 保護者からの要望が強いので、検討を要望する。

子どもを産み育てやすい環境づくりに向けて

議員 妊娠・出産・子育て支援、子育て世代定住促進の新たな施策はどのようか。

健康福祉部長 事業内容を精査中。関係機関等と調整し、早期に実現したい。

議員 産前産後ヘルパー派遣事業の実施を要望する。

健康福祉部長 調査研究する。

国・県への陳情が必要ではないか

議員 錦町土地区画整理事業における平成27年度の補助金交付率はどのようか。

都市整備部長 平成27年度の現段階で交付決定しているものとしては、要望額2億8千600万円に対して、9千352万2千円。率にして32%である。

議員 国や県からの補助金獲得に向けて、市長みずからが国土交通省に出向き、蕨市の窮状を訴えるというような市独自の働きかけ、陳情が必要ではないか。

市長 窮状をいろいろな形で訴えていくことは大事だと思うっているが、効果としては蕨だけ何とかしてほしいということよりも、防災面も含めた区画整理そのものの大事さというものを国に理解していただくというのが一番大事なのかなと考えている。ただ、区画整理を推進したいという思いは非常に強く持っているのでも、いろいろな方法をこれからも考えて、可能性が少ないながらもあつたのであれば、そ

こは積極的に行動しているという思いは持っている。

蕨駅東口駅前交差点にスクランブル化導入を

議員 蕨駅東口駅前の六差路の交差点は、駅利用の通勤通学や自転車、バスの乗降の方々、自動車の左折、右折で混雑し、危なく感じることが多々ある。同交差点をスクランブル交差点にして、安全を図るべきと考えるがどうか。

市民生活部長 スクランブル交差点は、歩行者と車両が同



より安全な交差点にするためにスクランブル化の検討を（蕨駅東口六差路交差点）



ひき こうじ

時に交差点に入らないようにする方式で、人通りの多い繁華街などに多く設置されている。信号機の設定は警察の所管であり、また、当該交差点は川口市と市境にあるので、今後、交通量の調査や川口市などと協議を行い、警察に対するスクランブル方式導入の要望について検討したい。

市民体育館改修に伴う対応について

議員 耐震改修工事に伴い、平成28年7月1日から29年6月30日まで早期予約受け付けを制限することだが、周辺の体育施設利用団体との調整会議を開く考えはあるか。

教育部長 市民体育館の代替施設となり得る屋内公共スポーツ施設は、小・中学校の体育館や公民館などが該当するが、日ごろの学校活動や部活動、既存の利用者との兼ね合いもあるので、利用状況を踏まえながら、必要に応じて説明会を開くなど、対応したい。

一般質問

「住みたいまち蕨」実現のため発信力強化を！

議員 各自治体では、人口減少社会という局面に入り、それぞれの生き残りをかけて、個性のある地域の発展、知恵と工夫の競争による活性化を重視する方向へと転換することが求められる時代になってきている。本市の市外に対してのPR活動はどのようか。

総務部長 ホームページにおいて、本市の概要や市政の取り組みのほか、中山道の宿場町としての歴史や文化などの情報を発信している。また、蕨市PR大使として3人の方



対外的発信力が自治体に求められています

にご就任いただき、それぞれの活動の中で、蕨の魅力を発信していただくなどのPR活動を実施している。

議員 本市のPR媒体は現在どのようなものがあるか。

総務部長 広報蕨やCA-TVを活用した行政広報番組「ハローわらび」、ホームページを基本とし、転入者向けの市民のしおりや観光パンフレットなどのほか、公式マスコットキャラクターも活用して積極的にPRを行っている。

ウェブサイト「住みたい人」向けコンテンツを

議員 これから住みたいと思う人に対しての発信情報はどのようか。

総務部長 現時点では、これから住みたいと思う人向けの情報を絞った形で情報発信は実施していないが、子育て世代に本市への転入を考えていただくための蕨の魅力を紹介するパンフレットの作成とホームページにおける特設コー



ふるかわ あゆみ

ナーの開設を検討している。

議員 最近の自治体のウェブサイトでは、住民視点での特設コンテンツ、例えば「住みたい」「遊びたい」「住民サービス」というような形で分けているところが多くなっている。それぞれの部や課のページを見ないという情報報がわからないというようなものから、1つのまとまった情報をつくることで、よりよいホームページになると思うので、ぜひ実現してほしい。

音楽のあるまちづくりで特色の創出を

議員 取り組みの現況と今後の計画はどのようか。

教育部長 「蕨市民音楽祭」、「子ども音楽大学わらび」、「小・中学校への音楽家の派遣」といった事業を開始したところである。平成28年度以降についても、これらの事業を継続する予定であり、引き続き、音楽によるまちづくりを積極的に推進していきたい。

ビッグシティ蕨のために、 キレイな空き家対策を

議員 老朽空き家については

既に対策が取られている。遠方に住む所有者によって掃除

換気、草刈りといった適切なメンテナンスが施されている

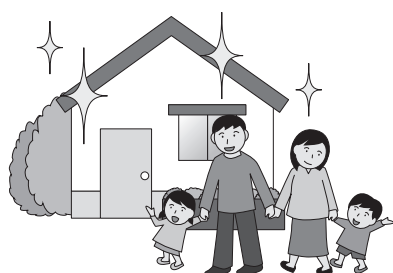
キレイな空き家も増えており、賃貸・売却を促せば、人口増

税収獲得機会増に繋がる。公益に資することなので、賃

貸・売却に対して補助金を交付するなどのインセンティブ

施策を行ってはどうか。

総務部長 市外から子育て世代を呼び込み、人口減少対策や担税能力のある世代の定住による税収増も見込まれる一方、不動産事業者等、利害関



空き家に市外から子育て世帯を誘致しよう

係を持つ方々の協力が不可欠であることから、引き続き先進事例の調査・研究を行う。

議員 まず担当部署を決め調査を行い、キレイな空き家の現状を把握することを求める。

荒川氾濫対策の強化を

議員 200〜300年に1回、大雨によって荒川の堤防が決壊し、市内全域が一瞬のうちに1メートル以上浸水する可能性がある。

その場合は、首都圏全域が被災地となり、自衛隊やよその自治体からの応援がすぐに来ることは期待しにくく、自力で対応しなくてはならない。避難、救助の人員体制、装備、訓練の強化、電柱に予測浸水深表示を貼るなど市民への啓発強化を求める。また、水防に特化した消防団の下部組織を新設してはどうか。

消防長 本市の場合は、消防団が水防団を兼務しているため、まずは消防団員の確保を図り、日ごろから訓練を行う



ほや たけし

ことで、組織の強化を図ることが重要と考えている。

富士見公園と周辺の環境整備について

議員 工事中のまま放置され資材がほったらかしで、用水路にフタはなく、いつも草ボウボウである。どうなっているのか。

都市整備部長 今後の整備計画として、公園面積が拡大され、公園の地下には雨水調整池の整備が予定されており、それに合わせて当該排水路も整備する計画となっている。除草は年2回程度行っている。資材は土地区画整理事業にかかわるものであり、整然と置かれていないということであれば、担当部署に適切な管理をするよう指示する。

議員 担当部署が限られた予算の中で優先順位をつけていることは理解する。そもそも現状は、文明国の一自治体として本来必要な最低限の予算が措置されていないと考える。

塚越地区に期日前投票所の設置を求める ～選挙の投票率向上に向けて～

議員 平成27年5月に行われた市議会議員一般選挙の投票率は44%と過去最低だったが、平成23年、27年の期日前投票の割合はどのくらいか。

選挙管理委員会委員長 平成23年度の割合が123%、27年度の割合が153%となっている。

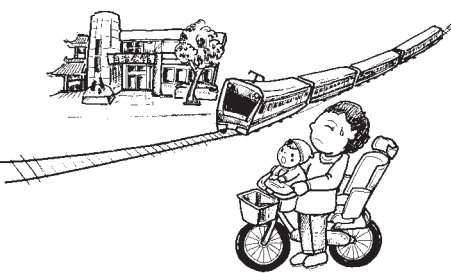
議員 平成27年執行の市議会議員一般選挙の期日前投票に要した経費はどのくらいか。

また、期日前投票所を新たに公共施設で1カ所増設した場合の概算費用はどのくらいか。

選挙管理委員会委員長 平成27年4月12日に執行した埼玉県議会議員一般選挙から引き続き蕨自治会館を利用していることから、通信設備の設置に伴う工事費などが不要であったこともあり、190万円程度の経費を要した。また、新たに1カ所増設した場合、衆議院議員総選挙を例として、期日前投票期間を11日として算定した場合、概算で590万円程度と考えている。

議員 投票率については、投票日は低下傾向で期日前投票が増えている状況にある。選挙への関心度の低下もあるが、働き方が多様化している今、投票率向上には全有権者の2割を占める塚越地区にも、公民館など、近くに期日前投票所が必要と思われる。

選挙管理委員会委員長 東公民館は社会教育活動が定期的に利用されている状況から長期の貸し出しは難しいという話もあり、立地条件、予算等を考えると非常に難しい部分があるので、これからの大きな検討課題と考えている。



塚越地区から自治会館は遠い



おいし けいこ

特定保健指導について

議員 特定健康診断受診率は県内でも上位だが、受診後の保健指導実施率は1割にも満たず県内でも低い状況が続いている。生活習慣病予防は、介護予防に直結するたいせつな施策。早急な実施率の向上策が必要ではないか。

健康福祉部長 平成27年9月に、埼玉県による特定保健指導率向上のための指導があり、特定保健指導を行うための人材確保や効率的な実施計画による取り組み、委託方式の効率的な活用など、特別指導を受けたので、今後検討したい。

議員 どのような保健指導だったら受けたいと思うか。

健康福祉部長 スケジュール的に受けやすい時間との関係があると思う。

市民生活部長 メタボへの指導に、他の指導もオプション的に加えると受けたい人が増えるのかなと思う。

より詳細な内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

あつたか市政を問う

障がい者のくらしの場や就労訓練するセンターの設置を求める

議員 障がい者のくらしの場（グループホーム、入所施設）を市内に確保するための検討状況はどうか。

健康福祉部長 平成27年4月に市有地を活用したグループホームを開設。今後も当事者団体や関係者と協力し、市内におけるグループホーム確保に努める。入所施設の確保については国庫補助が非常に難しい状況だが、川口市、戸田市と事務協議の中で情報交換を行い、連携を密にし、必要性を国や県に対し働きかけていく。



2月から稼働が始まった精神障害者の作業所「つむぎ」

市長 要望している方々の思いに寄り添い努力したい。

議員 精神障がい者が就労訓練する新たな地域活動支援センターの設置や、就労継続支援B型への移行の動きがあるが支援していく考えはないか。

市長 しっかりと相談にのりながら、B型への移行を展望した方向で支援をしたい。

留守家庭児童指導室（学童保育）の充実を

議員 必要な指導員が確保できない事態が続いている。非常勤職員の指導員の賃上げ等の待遇改善をはかる考えは。

総務部長 賃金等の待遇改善については現在、職員団体との交渉を行っている（時給10円アップで同意）。

議員 新規開設する中央小・東小小学校内の学童保育室の運営を委託するにあたっての経緯はどのようか。

健康福祉部長 夏休みの開設を目標に指導員の確保等に取り組んできた。しかし、指導



やまわき のりこ

員の確保は難航し、結果的に夏休みからの開設を延期せざるを得なくなった。その後も人員の確保ができない状況が続いたことから、平成28年4月に確実に開設できる方策として、10月から事業者の公募を始めた。

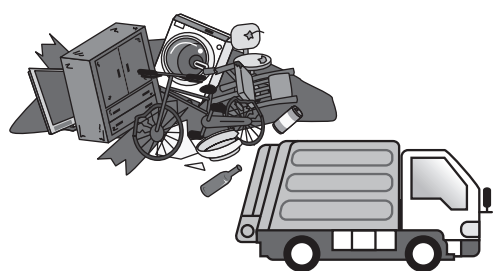
議員 直営での学童保育室設置を求めるが、新年度の開設に向け、委託はやむを得ない対応と理解する。今後は労働条件の改善等も実施し、指導員の確保の強化を。また、今後の学校敷地内への学童保育室の増設にむけた検討状況はどうか。

市長 人員の確保に苦勞している状況の中、平成28年4月オープンを優先させるために指導員の直接雇用の努力と並行して、民間事業者の募集を行ってきた。学校の活用を基本にさらなる増設の必要性はあると認識している。

ほかに 「人材ネットつながるバンクの活性化を」について質問。

一般質問

「災害廃棄物処理計画」の策定について



災害への備えのために災害廃棄物処理計画の策定を

議員 「災害廃棄物処理計画」は、自然災害の猛威が去った後、残った災害廃棄物をどのように処分するか具体的に示す計画である。津波や洪水で流された家屋や自動車等々、日常生活の中では考えつかないほどのごみの量や種類について、一気に対応しなければならぬ。同計画の策定を本市としてどのように考えるか。

市民生活部長 阪神・淡路大震災では、被害が広範囲に及び膨大な量の廃棄物が発生し、瓦れき発生量の推計、倒壊家

屋の解体、分別、リサイクル等を行う上で市町村に混乱が生じたことから、同計画の必要性は認識している。今後環境省の災害廃棄物対策指針を参考にし、戸田市、蕨市、生セセンターと協議したい。

議員 同計画策定に当たって、どのような課題があるか。

市民生活部長 生活ごみの収集体制の維持、道路通行に支障がある場合の対応、衛生センター敷地内外の仮置き場の確保、燃料の確保、ごみ処理業務に使用する水の確保、非常用電源の確保、焼却灰の搬出などが考えられ、今後検討を進める必要がある。

「新型インフルエンザ等対策行動計画」について

議員 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定に伴い、事業継続計画の策定に向けた今後の取り組みはどのようか。

総務部長 業務継続計画については新型インフルエンザのほかに、震災対策や情報通信



おおいし こういち

技術の関係のICT部門についても取り組みが必要だと考えている。その中で、市として基本的な考え方を整理する必要性であるとか、共通の課題も考えられることなどから健康福祉部、市民生活部のほかに、今回総務部のほうも新たに加わり、連携・調整しながら取りまとめていきたい。

災害時におけるマンホールトイレについて

議員 市内にマンホールトイレが設置されている施設は何か所あるか。また、本市としてどのように考えるか。

市民生活部長 下水道管路へ接続構造を持ったマンホールトイレ設置施設はない。マンホールトイレは、下水道施設の機能が失われると使用できなくなることから、当面は現在備蓄を進めているトイレ処理セットや組み立て式トイレのさらなる充実を図ることに

より、災害時のトイレを確保していきいたいと考えている。

糖尿病から人工透析への移行防止を

議員 糖尿病による人工透析患者数は。

健康福祉部長 身体障害者手帳所持者のうち、腎臓機能障害1級の方の大部分は人工透析を受けていると思われる、その人数は180人であり、そのうち糖尿病によるものは66人。

議員 人工透析への本人負担の認識と本市財政への影響は、

健康福祉部長 週3回、毎回

4時間程度の透析、直後の極度な疲労も含めた身体への影響、就労の制限による収入減など本人への影響は大きく、本市の財政への影響も大きい。

議員 人工透析患者数の推移はどのようか。

議員 人工透析患者数の推移はどのようなか。

健康福祉部長 増えている。

議員 県による糖尿病から人

議員
県による糖尿病から人



人工透析になると負担が大きい

工透析にならないようにするプログラムに本市が参加していない理由はなにか。

市民生活部長 費用の1千万円の費用対効果が不透明であり、もう少し様子を見たい。

議員 糖尿病治療を受けていない方・治療を中断されている方に、このままでは大変なことになるというお知らせをすべきと考えるのがいいか。

市民生活部長 特定健診の結果
果通知に、そのような文章を
入れるなど考えていきたい。

過労死・過労自殺問題に
きちんと取り組むべき

議員 平成26年11月に「過労死等防止対策推進法」が施行され、昨年7月には大綱もで

市民生活部長
なにもやらな
かった。



えのもと かずたか

議員 国がなにかやるのを待っているのではなく、市としてもこの問題に意識を変えて積極的に取り組むべきだと思っ
うがいかか。

市民生活部長 指摘を踏まえ
来年の11月と、それ以外でも
何か取り組みを考えたい。

蕨をPRするなら
中身が大事

議員 蕨をPRすべきと議会で議論されているが、蕨がよいところであるのが前提だ。保育園の待機児童数は。

健康福祉部長 平成27年4月
時点で33名であったが、10月
には75名となっている。

議員 出産について、職場で嫌がらせなどが行われるマタ

市民生活部長 今後、防止・啓発について検討したい。

「ほかに」「不登校児童・生徒」「ひとり親や収入の少ない家庭等への補助」「自宅以外の学習場所」について質問。

あつたか市政を問う

議会議中継をご利用ください

平成27年9月定例会より、インターネットによる本会議中継（ライブ中継・録画放映）が始まりました。蕨市議会ホームページからいつでも簡単に視聴することができますので是非ご利用ください。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ (<http://www.city.warabi.saitama.jp>) とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、蕨市議会をクリックすると、簡単にご覧になれます。

請願と陳情の提出方法

請願・陳情は①～⑥の必要事項を記入して作成し、議会事務局にご提出ください。提出時期はいつでもかまいませんが、当該定例会にかかるものは事務処理の都合上、定例会召集日の9日前（当日が休日にあたる場合は、休日直前の平日）の午後5時で締切となります。詳細は議会事務局へお問い合わせください。

- ①請願・陳情の件名
- ②議会事務局への提出年月日
- ③あて名（蔵市議会議長）
- ④請願・陳情者の住所・氏名・押印（複数人で提出する場合は代表者を決めてください）
- ⑤請願の場合のみ、1名以上の紹介議員の署名・押印
- ⑥要旨・理由等（内容は簡潔明瞭をお願いします）

					住所
					氏名
					印

○○○に関する請願

要旨

○○○……………。

理由

○○○……………。

○○○に關する請願
 請願者代表者住所
 氏名
 他
 名
 紹介議員
 氏名
 巖市議會
 議長
 ○○○○殿
 (印)

3月定例会の日程(予定)

2月24日(水)	開会・委員会	8日(火)	委 員 会
3月1日(火)	質 疑	16日(水)	一 般 質 問
2日(水)	〃	17日(木)	〃
3日(木)	〃	18日(金)	〃
4日(金)	委 員 会	24日(木)	閉 会
7日(月)	〃		

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

議会だより編集委員会を開催しました

- 9月28日「12月発行号の概要について」
11月12日「12月発行号の中間確認について」
11月17日「12月発行号の最終確認について」
12月14日「3月発行号の概要について」
2月8日「3月発行号の最終確認について」

平成27年12月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	新生会	共産党	公明党	民主党	無所属	結果
議案第56号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	○	○	○	×	×	原案可決
議案第57号	蕨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	○	○	○	○	×	原案可決
議案第58号	職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	蕨市職員公務災害見舞金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	蕨市職員退職手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	蕨市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	蕨市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	平成27年度蕨市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	平成27年度蕨市立病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	推薦
議案第68号	蕨市民会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	蕨市総合社会福祉センター内社会福祉施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	蕨市立文化ホールくるる及び蕨市立旭町公民館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	蕨市民体育館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	蕨市プールの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	和解について	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第3号	蕨市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第4号	夜間中学の整備と拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

※議案第56・57・65・66号については質疑が、議案第56・57号については討論が行われました。質疑・討論の詳細内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

編集後記

いま、蕨市議会の女性議員は18名中4名で、その割合は約22%です。昨年の選挙で2倍になりました。

今までの最多は5名（昭和34年の市制施行以降で、平成15年からの任期、定数24名時）、約21%ですので、割合では今が一番高いことになりました。県内でも上位ですが、全国的には神奈川県大磯町のように、平成19年から50%（定数14名）を超えているところもあります。

国連は1995年までに「指導的地位に女性が占める割合30%」を目標にしましたが、日本では2020年までに30%を目標とし、「世界から25年遅れている」と指摘を受けています。1月1日現在の女性衆議院議員の割合は9.5%であり、女性の議員を増やすには、選挙制度を変えないと難しいでしょう。女性の代表が増えること「視野の広がる市政」になります。なぜなら、蕨市の地域は多くの女性で支えられているからです。少ない女性議員ですが、共同参画の視点は大切にしていきたいと思います。

議会だより編集委員会

委員長 大石 幸一
副委員長 梶原 秀明
委員 大石 圭子
櫻本 和孝
松本 徹
三輪かずよし